

山 広報 令和2年(2020)

9

月号 No.759

きなりの郷とは… 純粋、素朴、まざりけのないと言った意味で、「本物の暮らしのある村」という願いを込めた言葉です。

きなりの郷

下北山



下北山保小中合同校舎 竣工式

下北山保・小・中合同校舎が完成しました

令和元年6月から建設工事を行ってきました、下北山保・小・中合同校舎が完成し、7月26日(日) 関係者約35名が出席し、竣工式典を執り行いました。南村長から関係機関や学校関係者、また地域の人々の支援に深く感謝した式辞が述べられました。



「本日は、皆さまにはご多用の中、下北山保・小・中合同校舎竣工式にご臨席を賜り誠に有り難うございます。本来であれば竣工式は、保育所の園児や小中学校の児童、生徒の皆さん、先生方、保護者の皆さん等多くの方にもご出席をいただき一緒に祝いできればと思ったのですが、新型コロナウイルス感染予防の関係で規模を縮小しての竣工式となり、少し残念な思いであります。

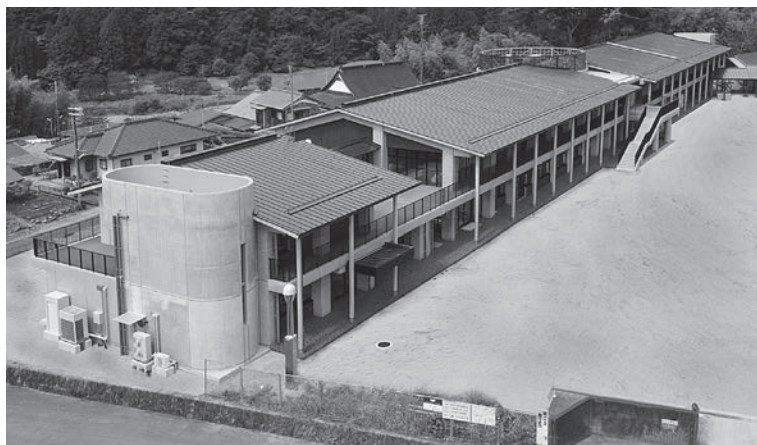
私は、教育はどこに住んでいても、人にとって一番大事なものであると考えています。だからこそ、山間へき地にあっても、子どもたちに良好な教育環境を作ってあげるのが、私たちの役割ではないかと思っています。本村においては、

近年、児童生徒数の減少により、コミュニケーションや集団生活を積極的に円滑に送っていく能力が伸ばしづらくなっています。こうした少人数教育の弱点を克服し、中学校への滑らかな接続を図ることを目的として、平成二十九年度に、小中一貫教育を進めていくための協議が始まり、令和元年に小中一貫教育を経て義務教育学校への移行を目指すことが目標とされました。併せて、保・小・中の園児、児童、生徒が一堂に会することができ、少人数の保育所及び学校にふさわしい新たな合同校舎の建設について協議が開始され、議会や合同校舎等検討委員会などを通じ村民の幅広いご意見を受ける中で、現在の下北山中学校の敷地内に保・小・中合同校舎を建築することとなり、令和元年六月に建設工事に着手しました。

工事期間中は、新型コロナウイルスの關係で何かとご苦勞も多かったことと存じますが、予定通り工事を進めていただき、素晴ら

しい校舎を創って下さいました株式会社榊谷設計様、株式会社森下組様をはじめ多くの工事関係者の皆様、下北山村産の多くの木材製品を加工・納入くださいましたスカイウッド株式会社に厚く御礼申し上げます。本当に有り難うございました。また、工事中何かとご迷惑をおかけしたこともあったかと存じますが、ご協力くださいました下北山中学校の生徒の皆さん、先生方そして地域の皆さんにも感謝を申し上げます。

完成した新校舎は、下北山村の先人たちが古来より森林と歩んできた歴史と伝統を感じることができる外観で、木の丸太がアクセントとなっています。内装には、下北山村産の木材を下北山村の製材所で製材したスギやヒノキの内装材がふんだんに使われており、森林から生まれたやわらかさと温もりにあふれ、光と風の自然の恵みを十分に取り込んだ、環境に優しい校舎となっています。また建物には、下北山村出身で名誉村民である書家の故杉岡華邨氏や下北山村にゆかりのある文化学院創設者であり建築家でもある故西村伊作



氏を思い起こさせるデザインも盛り込まれています。

加えて、耐震性は勿論の事、温暖化への対応として全室エアコンの完備や、情報化に対応したICT機器の設置、教室のレイアウト等使いやすさが随所に施された新たな学びの家で、子どもたちとはもとより、先生方や保護者並びに地域の皆さんにも、新しい教育活動ができることを喜んでいただけるものと思っています。学校の整備は今年度末にむけて旧中学校校舎の解体撤去、グラウンドやプールの整備等を進めることとしていますが、中学校は令和二年九月から、保育所及び小学校においては令和三年四月から新校舎での生活が始まります。引き続き工事中の子どもたちの安全や環境面の影響に配慮しながら、工事の完遂に向けて取り組んでまいります。

結びに下北山村の子どもたちがこの素晴らしい校舎で学び、大きく羽ばたき活躍されることを心より祈念申し上げますとともに、末永く地域の皆さまに愛される校舎となりますことを願って挨拶とさせていただきます。」

次に、産業建設課長から工事経過が報告された後、建設工事を請け負った(株)森下組と、設計・監理・監督者である(株)榎谷設計、また新校舎の内装木質化のため下北山村産の木材供給者であるスカイウッド(株)の代表者3名に南村長から感謝状が贈呈されました。

来賓祝辞では、下北山村議会を代表し中谷宏議長より「新しい合同校舎で始まる北山っ子を育てる教育を温かく見守っていただきたい。保育園児、小学生、中学生の皆さんの大切な学び舎として、また末永く地域の皆様に愛される施設、そして活気あふれる学校となりますようご指導ならびにご協力をお願いします。」とのお祝いのことばに続き、本年度より下北山小学校及び中学校校長を兼務している廣川雅啓校長より「社会に求められる新しい学びに対応した最新設備の新校舎で、村の宝である子どもたちの教育に邁進したい。」と喜びと決意のことばが寄せられました。式典終了後、午後からは村民の皆さんを対象に内覧会が行われ、165名の方が新校舎を

見学されました。

新校舎のデザインは下北山村にゆかりのある、教育者・建築家である故西村伊作氏が創立し、建設設計を手掛けた文化学院のアーチをモチーフとしたピロティや鏡、下北山村出身で名誉村民の書家・故杉岡華邨氏の世界をイメージした墨色をアクセントとしています。内装に使用された壁や床板には、村内の製材所で加工された地場産のスギやヒノキがふんだんに使用されており木の香りやぬくもりを感じることのできる校舎となっています。

合同校舎施設概要

■施設の規模	建築面積	2,037.80㎡
	延床面積	2,813.94㎡
	内訳	1階床面積 1,534.72㎡ 2階床面積 1,279.22㎡
■事業費	合同校舎新築工事	1,108,886,900円
	設計監理費	58,625,000円
	計	1,167,511,900円
■財源内訳	地方債(過疎債)	928,600,000円
	基金	238,740,000円
	一般財源	171,900円
	計	1,167,511,900円

※地方債(過疎債)については、元利償還金の70%が国から普通交付税として交付されます。



令和2年7月 第1回

下北山村議会臨時会を開催

7月28日（火）下北山村議会第1回臨時会が開かれました。

今回の議案は、保・小・中合同校舎整備に伴う旧校舎解体及び敷地整備工事請負契約の締結について1件、保・小・中合同校舎整備に伴う中学校プール改修工事請負契約の締結について1件、専決処分の承認を求めることについて1件の合計3件が上程され、原案どおり可決及び承認されました。

議案の詳細は、次のとおりです。

★保・小・中合同校舎整備に伴う
旧校舎解体及び敷地整備工事請負
契約の締結について

請負金額 20,020 万円で、

(株)北山工業と(有)大崎組の特定建設工事共同企業体と契約しました。

★保・小・中合同校舎整備に伴う
中学校プール改修工事請負契約の
締結について

請負金額 11,495 万円で、

(株) 田中建設と平和建設 (株) の特定建設工事共同企業体と契約

**大雨や台風の気象情報に
注意して早めに防災対策・
避難行動を行いましょう**

台風や前線の影響で、大雨、洪水、暴風、自然災害が発生しやすくなっています。皆さんが早めの避難などの防災行動を取ることができるよう、気象庁は様々な「防



しました。

★専決処分の承認を求めることについて

令和2年度下北山村一般会計補正予算(第3号)

た。2, 9, 651, 879千円を追加し、総額829千円としました。

主に、臨時特別交付金の増額による地域応援商品券事業費の増額分です。

「災害情報」を発表しています。時間を追って段階的に発表される「注意報」や「警報」などの防災気象情報を有効に活用し、早め早めの防災行動を取るようによましよう。

雨風が強くなる前に家屋の補強や、雨戸を閉めたり必要に応じて補強する、側溝や排水溝は掃除して水はけをよくしておく、風で飛ばされそうな物は固定又は家の中に格納したりするなど、家の外の備えをしておきましょう。雨風が強くなってからでは、外での作業は危険です。

また、飛散防止フィルムを窓ガラスに張るなど、室内の安全対策も行いましょう。避難が必要になったときに備えて、非常持ち出し品の点検や避難場所の確認なども行っておきましょう。

非常持ち出し品の一例

リュックサックにまとめて、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。

【食料品など】

飲料水、乾パンやクラッカー、レトルト食品、缶詰、粉ミルク、ほ

乳びんなど

【医薬品など】

救急医薬品、常備薬、マスク、紙
おむつ、生理用品など

【貴重品、お金】

現金（小銭も）、預金通帳、印鑑
健康保険証、身分証明書など

【衣類】

下着、タオル、寝袋、雨具、軍手
靴など

【日用品】

ナイフ、缶切り、鍋、水筒、懐中電灯、ラジオ、電池、ロープ、マッチやライター使い捨てのカイロ、ティッシュ、筆記用具、ごみ袋など

【その他】

防災ずきんやヘルメット、予備の眼鏡、地図など





小又川水力発電所が発電を再開しました!!



発電所建屋

平成30年12月から休止していた小又川水力発電所が、約1年半に及ぶ更新工事を終えて今年6月から試験運転を開始し、発電を再開しました。

小又川水力発電所は昭和60年頃から建設に向けた検討が重ねられ、多くの課題を乗り越えて平成5年に施設が完成し、村営の発電所として運転を開始しました。当時のさまざまな制約条件から、発電した電気は下北山スポーツ公園での自家消費を主な目的とし、発電出力98kwの小さな水力発電所として運営してきました。

発電開始から20年近くが経過したところから、施設の一部が経年劣化により故障するなどして、今後の維持経費の増加と設備更新費用が将来への課題となっていました。そのような中、ならコープグループから発電所の能力増強更新の提案があり、協働して事前調査を行った結果、十分に事業化できることが判りました。

○更新工事の内容は

今回の更新工事は、下北山村と市民生活協同組合ならコープが平成30年10月に締結した「村づくりに関する包括連携協定」に基づき、ならコープの関連会社である(株)コープエナジーならが事業主体となって行いました。総事業費が3億4500万円で、そのうち3000万円はクラウドファンディングにより村内外の個人・法人116名の方から出資して頂き、残りの資金はならコープグループが負担しました。発電出力を従来の98kwから179kwに増強し、全量を再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT制度)を活用して売電単価34円で売電します(従来は約11円)。また、今回の事業では取水口に至る歩道の敷板の木材、発電所前看板、出資者銘板については、村内事業者の方々に制作・納品して頂きました。

①取水口を改良し取水量増加



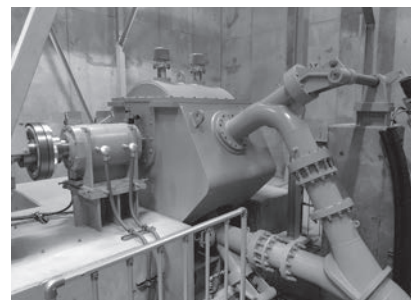
取水口を改良し、より多くの水を取り込めるようにしました。自動除塵機を新たに設置し、葉っぱなどのごみは自動で取り除かれるようになりました。

②水圧管路を増強



取水量を増加させ、より多く発電ができるよう、現状の管の上に新たに水圧管(ポリエチレン管)を敷設しました。

③水車発電機を更新



取水量の増加に合わせて、より多くの発電出力(179.7kW)をもち、湯水時にも効率良く発電ができる水車および発電機に更新しました。

○エネルギーの地産地消と地域の振興

小又川発電所で発電された電気は、「ならコープでんき」の電源として8月からならコープの組合員の皆様に届けられています。また、売電収益の一部は村の収入となり、今後、下北山村の振興施策に活用していきます。

特集 Vol.2

村の大切な資源を、未来を担う子どもたちへ

私たちの暮らす村の92%は、森林が占めています。先人が大切に守り育ててきた山の恵みを使い、多くの人の手で、下北山保・小・中合同校舎が完成しました。今回はそれに関わった方々を一部ご紹介します。



池峰区に住み、地域おこし協力隊として日々、山と関わりながら活動をしている河野さんにお話を聞きました。

【河野さん】 学校の壁材の中には自伐型林業の協力隊が村有林を間伐した木材も使われています。村の現場で50年程前に植えられた杉を伐倒し、村内作業車やユンボで搬出し、初めて2トントラックを運転しスカイウッドさんまで運びました。その木々が製材され、子どもたちが触れる空間に使われ、共に年月を重ねていくことは嬉しいです。

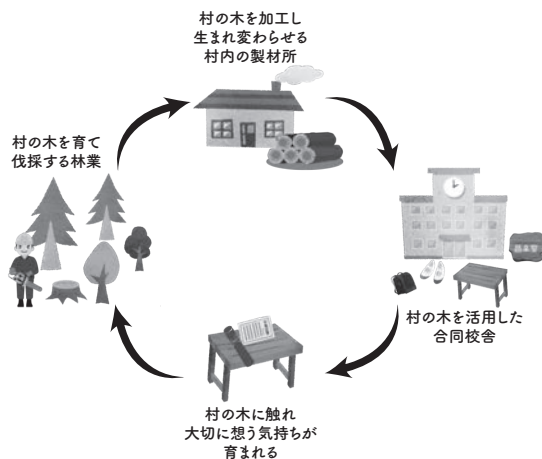


熊野原木市場で買い付けた下北山村の木は池原、寺垣内から伐採された木で、主に合同校舎の壁板や床板に製材されました。木材の買い付けを行った村の担当者に話を聞きました。

【質問】 市場での様子や、買い付けに当たって心掛けたことなどはありますか。

【担当者】 市場では、木口に押してある刻印を頼りに村の木を探して、価格、樹種、品質を判断して買い付けをしました。各地から集まる他業者とのセリは、緊張の連続でした。曲がった木は製材しにくいのでなるべくまっすぐな木を選んだり、村の木の中でも良質な木を選ぶなど色々なことに気を配りました。

下北山村の木の循環



小・中学校の9年間、子どもたちが毎日使う机は卒業時に天板が外され、思い出の記念として贈られます。



下北山村林産加工施設 森田 大輔 さん

合同校舎で使用する床板や壁板をはじめ、子どもたちが使う本棚や、机などの製作に携わってきた森田さんを取材しました！



【質問】 今回の合同校舎関係のお仕事で、やりがいを感じる場面や大変だったことを教えてください。

【森田さん】 自分の製作した机や本棚を、地域の子どもたちや、自分の子どもが長い間使いながら成長してくれると思うとやりがいを感じます。大変だったことは、食堂のテーブルを作ることでした。厚みもあり、とにかく重い。それに杉を使っているのでヒノキや広葉樹と比べるとへこみやすい。ちょっとでも機械の角に当たるとへこんでしまったりするので一つ一つ集中して作りました。



【質問】 下北山村林産加工施設では日々、木材や製材機器と向き合う森田さん。普段の仕事で気を付けていることなどはありますか。

【森田さん】 普段、床板などの製材は、0.1ミリ単位の厚さにこだわり、毎日製材機器を調整しています。これを極めるのがとても難しいです。また、木の表面についたゴミをきれいにしないと機械の故障に繋がったり、刃の寿命を縮めたりするので気をつけてます。また、機械に触れる際はケガをしないことが一番大切です。



下北山村林産加工施設から合同校舎の床板は約3,000枚、壁板は約5,000枚が製材されました。



サンダーで仕上げを施した木の板はつるつるの手触り



下北山村産の木がふんだんに使用された校舎の様子

南奈良総合医療センターの選定療養費が変わります

令和2年度の診療報酬改定により、一般病床200床以上の地域医療支援病院では、紹介状なしで受診する場合などに保険適用の診療費とは別に、国が定める料金（選定療養費）をご負担いただくこととなりました。令和2年10月1日からは南奈良総合医療センターの選定療養費が下記のとおり変更となりますので、皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

	改正前	改正後
ご負担額	初診1,100円	初診 5,000円 再診 2,500円（他の病院等に対し文書による紹介を行う旨の申出を行ったにも関わらず、当院を受診した患者）
対象診療料	全診療料	内科、総合診療料、外科、整形外科、救急科

※当院を受診される場合は、かかりつけ医などの紹介状を持参いただきますようお願いいたします。

消費生活センター（相談窓口）の活用を！

私たちはさまざまな人と関わり、そして買い物などの消費行動を毎日繰り返しながら生活しています。特に近年はデジタル化・国際化の進展や、災害・感染症拡大など緊急時に便乗した消費者被害も多発するようになりました。このような被害の救済と消費者のさまざまな相談窓口として、消費生活センター等の窓口があります。消費生活に関わる問合せや苦情相談等ができ、「鍋を買い替えたいがアルミとステンレスの特徴を知りたい」や「ネット通販で化粧品を買ったが毎月配送され困っている」、「小学生の子どもがスマートフォンでオンラインゲームの高額なアイテムを購入していたので取り消したい」といった相談が可能です。相談料は無料で、相談された方から知り得た個人情報等を外部に漏らすことはありませんのでご安心ください。

困ったときは、一人で抱え込まないで下記の相談窓口までご連絡ください。

～相談窓口～

- ・消費者生活ホットライン「いやや」（局番なしの188）
- ・吉野郡消費者生活相談窓口

場 所	日 時	問 い 合 わ せ
吉野町役場	7月～9月	町民課町民相談室 ☎0746-32-3081
下市町役場	10月～12月	住 民 保 険 課 ☎0747-52-0001
大淀町役場	1月～3月	人 権 住 民 課 ☎0747-52-5501

毎週木曜日（祝日・年末年始除く）午後1時～午後4時まで

令和2年国勢調査を実施します



国勢調査
2020



- 国勢調査は、2020年（令和2年）10月1日現在、日本に住んでいるすべての人及び世帯が対象です。
- 9月中旬から、調査員がみなさまのお宅を訪問し、調査書類を郵便受けに入れるなどしてお配りします。
- 回答は、できる限りインターネットでお願いします（郵送も可能です。）。
- 国勢調査の結果は、災害時に必要な物資を備えたり、コンビニの出店計画に利用されるなど、わたしたちの生活の身近なところに役立てられています。
- 国勢調査では、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、調査書類の配布や調査票の受け取りを、できる限り、みなさまと調査員が対面しない非接触の方法で行うようにしています。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

インターネット回答期間

9/14 月 → 10/7 水

調査票（紙）での回答期間

10/1 木 → 10/7 水

国勢調査については、「国勢調査2020総合サイト」をご覧ください。

<https://www.kokusei2020.go.jp/>



総務省・奈良県・下北山村

協力隊のつぶやき

その86

今月号の協力隊のつぶやきは
岡が担当します。

こんにちは。岡 弘明（カレーの人）です。

毎日暑い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？美味しい夏野菜を沢山食べて、夏バテしないようにしましょうね。

普段私は地域おこし協力隊として、サポートきなりでお仕事させていただいています。その他にも、奥大和で放送されているローカル番組「ぐっと!! 奥大和」にて、下北山村の紹介もしています。

これまでの番組では村の生活や仕事、村であった不思議なことなどを取り上げました。最近では、「下北山村7月怪談」という題で、「三省医者と狐」の昔話についてのエピソードを、自作のイラストや歴史



民俗資料館の異正文さんのコメントを織り交ぜながら紹介する動画を制作しました。今後も番組で様々なニュースを取り上げるために、村のことをいろいろ調べていきたいと思っています。もし村であった面白いニュースがあれば、是非教えていただくと大変嬉しいです。

あと僕は村の方言について興味があるので、よかったら教えてください（笑）

◀「ぐっと!! 奥大和」での打合せの様子

こんにちは 保健師です



真夏の暑さは少し和らいできていますね。しかし油断は大敵です！熱中症には十分注意してお過ごしください。

◎田口先生による講演会

～人生会議ってご存知ですか？～

やっぱり下北山村が一番！村で楽しく長く生活するために、将来のために今できること、考えてみませんか？

【日時】 9月29日（火）

午後2時～午後3時30分

【場所】 保健センター

【講師】 診療所 田口浩之先生

【対象】 村内在住の方

【参加費】 無料

※送迎要申込み

◎ノルディックウォーキング

浦向地区散策

ノルディックウォーキングは2本のポール（ストック）を使って歩くことで、足への負担を減らし

て長く歩けます。性別を問わずに楽しめ、ダイエットに効果的です。

【日時】 10月1日（木）

午前10時30分～正午

【集合場所】 保健センター駐車場

【講師】 ノルディックインストラクター 松岡聖子さん・松岡岳史さん

【対象】 村内在住の方

【参加費】 無料

【服装】 動きやすい服装・歩きやすい靴（運動靴）、帽子、飲み物

※ポール（ストック）は貸出します

※送迎要申込み

◎「女性のがん検診」

近年、乳がん・子宮がんになる人が増えています。特に乳癌は50～60歳代、子宮がんは30～40歳代で死亡率が増加しています。

（乳がん検診で40歳以上の方は、視触診・マンモグラフィとも受診して下さい。）

【日時】 10月8日（木）

緊急通報装置貸与事業について

村では、村内に居住する次の方を対象に、NTTの固定電話を利用した緊急通報装置の貸与事業を行っています。

【対象者】

- ①おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者であり、病弱者（常に医師の治療を受けているか又は治療を必要とする状態にある者）又は寝たきりである、いずれも住民税非課税の世帯
- ②重度の心身障害の状態により、①に準ずる場合。この装置は、通常の固定電話に取り付けて使用するもので、ベッドの枕元などに置き、そのボタンを押すと、近隣の協力員の方に自動的に電話がかかり知らせようになっています。

協力員の方には、この知らせを受けて設置者の方の様子を見に行っていただきます。

ペンダント式のボタンも付属しており、本体を設置した同じ屋内程度であれば、本体に電波が届いて作動する仕組みとなっています。

詳しくは、保健センターまでご相談ください。（☎6-0015）



（受付時間）午前10時～午後2時
※詳細な時間は個別にお知らせします。

（視触診・マンモグラフィ検査）
【参加費】 無料

【場所】 下北山村保健センター

【内容】 子宮がん検診、乳がん検診

【お申込み】 保健センター

☎6-0015

第9回:「ワクチン」について 「ワクチンは世界を救う??」



今年は梅雨明けも遅れていましたが、8月には本格的な暑さとなりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。私事ですぐ7月末には次男も誕生し、ますます家族が賑やかになりました。

さて、今回は昨今の新型コロナウイルスの件にも絡め、ワクチンをテーマにしようと思います。ワクチンは人類が感染症と戦うために編み出した知恵の一つですが、昨今では様々なデマや誤解も多くみられます。そこで今回は、

一、ワクチンの歴史
二、ワクチンの成分
三、忘れてはならない副作用
の3本立てでお送り致します。

一、ワクチンの歴史
ワクチンは、1796年にジェ

ンナーというイギリスの医学者が天然痘に対する有効性を証明し、19世紀末にはパスツールという化学者が科学的な製造法を確立し、様々なワクチンが開発されました。日本には1909年の種痘法、1948年の予防接種法を経て本格的に普及しました。特に1960年頃に大流行した、小児まひを作りうるポリオに対しては、全国の母親が作る団体等の弛まぬ働きかけにより、ワクチンの導入につながりました。(ちなみに、最近テレビにもご出演されている尾身茂先生は、西太平洋のポリオを根絶させた、私の尊敬している先生の一人です)。そうした運動もあって1980年代までは日本は開発や普及も盛んでワクチン先進国とされていましたが、以降は逆にワクチンの副作用が社会問題化し、日本の各メーカーが開発に消極的となってしまう結果、現在では逆にワクチン後進国と揶揄されるようになってしまいました。現在のワクチン開発は欧米で約8割を占めているのが現状です。

二、ワクチンの成分

ワクチンは、大きく2種類の主成分に分かれます。一つは生ワクチンと呼ばれ、弱毒化した病原体を接種します。古くからある手法ですが強い免疫を獲得できます。

結核や麻疹、風しん、おたふくかぜ、水痘、带状疱疹、ロタウイルスに使用されています。もう一つは不活化ワクチンと呼ばれ、病原体の破片だけを投与します。生ワクチンより副作用が生じにくく、インフルエンザ、肺炎球菌や昨今の新型コロナウイルスには不活化ワクチンが開発されています。

三、忘れてはならない副作用

「ワクチンを打って調子が悪くなった」と言っても、様々な原因が考えられます。まず注射を打つという行為(恐怖心)だけで、気分不良、ふらつき、めまい、血圧低下、失神などを来す血管迷走神経反射が生じる可能性が1%程度あります。次に、ワクチンには先

ほど説明した主成分の他、抗生物質、免疫獲得を強化するための物質(アジュバンド)、ワクチンの品質を保つための保存剤や安定化剤(乳糖やゼラチン、アミノ酸など)、病原体の培養液(卵成分やその他の動物成分)などが含まれている場合があります。このワクチンの成分によって接種部位にアレルギーや炎症が生じ、一時的に発赤、しこり、痛みが発生したり、熱が出る可能性が約10%程度あります。この反応は接種後2日以内に生じ、大半は後遺症もなく軽快

します。別のワクチンでは問題がなかったり、次打つ時には異常が生じなかったりもしますが、症状が出た場合は次回のワクチン接種の際に一度ご相談下さい。重篤な副作用は100万人に1人程度報告されており、成分によるアナフィラキシーや血小板減少、腎障害、薬剤性肺炎などがあります。また、免疫不全を起こす何らかの病気が隠れていると、生ワクチンで思わぬ副作用を来すこともあります。ワクチンによっては、個別に気を付ける副作用も存在します。

日本のワクチン普及が遅れ始めたのは、副作用に対する誤解や恐怖心に対し、医師が十分に説明してこなかったことが一因と言えるでしょう。またワクチンやウイルス自体の性質の問題で、1回で簡単に免疫がつかず、諦めてしまう人もみかけます。しかし一つだけ言えるのは、ワクチンを行うことで、自分だけでなく世界中の人の命を救えるということです。このワクチン活動にご協力いただくために、自分は持てる限りの知識で皆様の疑問に答え、不安に寄り添いたいと思っています。

下北山村診療所 田口 浩之

駐在さん通信



秋の交通安全県民運動が実施されます

次のとおり秋の交通安全県民運動が実施されます。

【運動期間】

9月21日(月)～9月30日(水)

【運動の重点(全国重点)】

- ・ 子供を始めとする歩行者の安全と自転車等の安全利用の確保
 - ・ 高齢運転者等の安全運転の励行
 - ・ 夕暮れ時と夜間の交通事故防止と飲酒運転等の危険運転の防止
- 【運動の重点(奈良県重点)】
二輪車、原付車の交通事故防止

なお、次のとおり重点に沿った施策や交通指導取締まりが県下各地で実施されます。

みなさん、交通事故や交通違反を起こさないよう気を付けてください。

21日子供を始めとする歩行者の安

全と自転車の安全利用の確保
推進デー

22日高齢運転者等の安全運転の励
行デー

25日夕暮れ時と夜間の交通事故防
止と飲酒運転等の危険運転の
防止推進デー

27日二輪車、原付車の交通事故防
止推進デー

30日交通事故死ゼロを目指す日

9月11日は警察相談の日

奈良県警察では、住民の皆さんの安全と安心に関する相談を24時間いつでも受け付けています。

不安な事や困った事があればいつでもご相談ください。

奈良県警察本部には総合相談窓口があり、相談の内容をお聞きして専門的な知識を有する相談窓口に適切に振り分けて的確な助言や指導ができるような体制を整えています。

総合相談窓口の電話番号は
(0742) 23局1108番
です。

プッシュ回線の場合は

#9110

でつながります。

もちろん警察本部だけでなく駐在所でも相談は受け付けています。

プライバシーにも十分に気を配って相談をお受けいたしますので地元の駐在所もぜひ頼ってください。

寺垣内駐在所

6局0031番

池原駐在所

5局2003番

駐在所連絡協議会委員の委嘱

先月、下北山村駐在所連絡協議会の委員の委嘱(任期更新)を行いました。

委員の方々は、ボランティアとして各種警察業務に協力してくださり、警察と住民との架け橋の役目もしてくださっています。

「駐在所に直接言いくいけど警察に知っておいてもらう方がいいかも:」と思われるような時などは委員の方々を通じて駐在所にお知らせください。

●委員の方々の紹介(敬称略)

(池 峰) 下村 勇

(寺垣内) 中面 淑

(浦 向) 面岡 忠男

(佐 田) 南 守和

(下桑原) 仲 ナナ美
(下桑原) 山岡 ゆみ
(下池原) 竹本 まゆみ
(下池原) 平井 清
(南都銀行) 上田 研二
各委員の皆様、いつも警察業務にご協力いただき誠にありがとうございます。

これから2年間ご苦勞をお掛けいたしますが、よろしくお願いいたします。

国民年金からのお知らせ
離婚時の年金分割制度について

離婚した場合、お二人の婚姻期間について、厚生年金の支給額の計算の基となる報酬額を分割して、年金額をお二人で分割できます。

原則として離婚後2年以内に手続きを行っていただく必要があるのですが、お早めに、大和高田年金事務所までご相談ください。

【お問合せ先】

大和高田年金事務所

☎ 0745-22-3531



赤ちゃん誕生祝い金を 交付しました。

7月30日(木) 赤ちゃんの誕生を祝福し、あわせて健やかな成長を願い、1軒のご家庭に「赤ちゃん誕生祝い金」が交付されました。

草野 暁ちゃん (父・涼さん 母・みなみさん)

(令和2年2月20日生まれ)

「下北山村で子育てできる喜びをありがとう」



奈良県調停協会主催

調停手続き相談の
開催について

お金や土地・建物のトラブル、交通事故、夫婦関係や遺産分割などの家族のもめごとに関し民事・家事調停委員が、調停の手続きについて無料で相談に応じます。事前の予約は必要ありません。ただし、訴訟や調停になっている事件の相談や、法律判断を求める相談はご遠慮ください。

【日時】

10月9日(金) 10時～15時

【会場】

大淀町立中央公民館

(奈良県吉野郡大淀町下瀬948)

【相談料】

無料

【問合せ先】

奈良地方家庭裁判所総務課

☎0742-88-2604

(本行事についての調停相談に関する問い合わせである旨をお伝えください)

旧下北山中学校を懐かしむ日

8月上旬下北山中学校が新校舎（合同校舎）へ引越しをし、旧中学校校舎で8月14日・15日の2日間「旧下北山中学校を懐かしむ日」を開催しました。

会場ではマスクやアルコール消毒、検温をしていただくなど、新型コロナウイルス感染予防へご協力いただく中、2日間を通して大変気温の高い日となりましたが、猛暑の中でも村内の方々、帰省をされている方々合わせて148名の幅広い年代の方々に来校いただきました。

来校された卒業生の方は「50年ぶりに来たけど変わってないなあ」や、「廊下に立たされたな」など、賑やかさや、楽しくもほろ苦い在学生であった当時の様子を思い出し、懐かしむ声があちらこちらで響き、写真を撮って思い思いの時間を過ごされていました。



人の動き

令和2年7月31日現在

		先月比	前年同月比
人 口	868人	(- 2)	(- 37)
男	398人	(+ 2)	(- 19)
女	470人	(- 4)	(- 18)
世帯数	545戸	(- 2)	(- 23)

発 行 下北山村役場 〒639-3803
奈良県吉野郡下北山村大字寺垣内983番地
☎(代)07468-6-0001
<http://www.vill.shimokitayama.nara.jp/>

謹んでお悔やみ申し上げます
吉 田 光 宏さん（上桑原）
八月十日 逝去
享年八十四才

ご協力いただきました皆様、
ありがとうございました。

檀原市（8月14日）
下 村 和 行 さん

上桑原（8月14日）
吉 田 恒 子 さん

浦向（6月24日）
奥 村 國 彦 さん

シルバー募金にご協力いただいた方